平成19年度

川崎市麻生スポーツセンターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1)指定管理者名	財団法人 川崎市生涯学習財団 (川崎市中原区今井南町514番地1)
(2)指定期間	平成18年4月1日から平成23年3月31日まで
(3)業務の範囲	・施設全般の管理運営に関する業務 ・施設設備の利用提供に伴う業務 ・建物及び附属設備の維持保全に関する業務 ・生涯スポーツ振興事業の実施等に関する業務 ・スポーツ行政等への協力業務 ・指定管理に付随する業務 ・その他施設の管理運営に関する業務

2 管理運営に対する評価

	2 官理選品に対する計画									
	評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導							
1 糸	1 総合的な運営状況									
	(1)基本的な運営方針	回バウンドテニスの麻生スポーツセンター杯を計画・実施した。	果すよう努めている。 スポーツ振興の区の拠点として、今日的諸課題や行政課題の解決、施設・機能の一層の有効活用に留意し管理運営・事業展開を図ること。							
	(2)維持管理等 の再委託	維持管理業務については総合管理として一括発注を行い、免許等を有し、実績のある事業者に再委託することにより、安全で円滑な管理を行うことができた。 委託事業者との密な連絡体制をとり適切な管理に努め、それぞれの委託業者の専門的管理の下に安心で安全な運営が出来た。	再委託業務を総合管理業務として集約発注を行い経費の節減に 努め、効果的・効率的に事業実施している。 今後も再委託業務について監督責任を果たし、適切な施設管理に努めること。							
	(3) 広報活動	麻生スポーツセンターの施設の認知度を高めるとともにスポーツ教室やスポーツデー等の広報を行うため、リアルタイムに情報を提供するホームページを開設した。また利用者に対する啓発活動にも留意しながら案内プリント・ポスター等を作成し掲示を行った。	広報活動への努力が認められる。 今後はセンターだより等の発 刊、既存の情報誌等への情報提供にも考慮し広報の拡充に努めること。 主催事業等の広報だけでなく、 川崎市におけるスポーツ情報を 広報するなど、地域スポーツ活動 の活性化や啓発にも努めること。							
2 乍	2 管理業務の実施状況									
	①休館日·開館 時間	・休館日:年間 18日間 ・開館時間:9:00から21:30まで 大会等については、事前の打合せにより利用者の要望 に応じて前後の時間帯の利用提供を行った。また、休館 日については利用者にとってより安全な利用が出来るよう に点検を実施した。	利用者サービスの向上について 取組みがなされている。 今後も効率的・効果的な管理運 営への取組みに努めること。							

O 41-1114		
②利用料金	①条例と同額にて設定	条例に基づいた利用料金が設
	専用利用料金(平日アマチュアスポーツ入場料無料の場合)	定されている。 割引率と利便性を向上させた個
	種別	人利用回数券の設定は利用サー
	小体育室 2,500 円 3,700 円 5,100 円 11,300 円	ビスの向上が図られていると評価
	第1武道室 900 円 1,500 円 2,000 円 4,400 円	する。
	第2武道室 900 円 1,500 円 2,000 円 4,400 円	公平性・平等性及び受益者負担
	研修室 1,600 円 1,900 円 2,800 円 6,300 円	について留意し利用料金の設定
		を行うとともに、利用者の利便性
	個人利用料金(カッコ内:6歳以上20歳未満の者20歳以上の学生	
	種別 午前 午後 夜間	٤.
	大体育室	
	小体育室	
	トレーニング至 (100円) (100円) (100円)	
	第1武迫至	
	第2武道室	
	②条例外の割引サービスの設定	
	・個人利用回数券の設定	
	6枚綴り(5枚分の料金)の回数券を設定している。	
③諸施設の活用	館内に休憩場を設置し開放した。	自由に入館できる休憩スペース
と提供サービス	また館の近くに「ゆうゆう広場麻生」があり、その児童・生	
	徒に対し大体育室を開放し児童・生徒の健康増進につい	
	て寄与した。	小・中学生への積極的な場の携
		供は運動啓発としても評価でき
		る。
④個人情報保護	個人情報の保護は重要な社会的な責務であると認識	独自に個人情報保護に関する
	し、個人情報に関する法律を遵守するとともに、「財団法	規定を設け適正な管理に努めて
扱	人川崎市生涯学習財団個人情報保護方針」及び「財団	いる。
	法人川崎市生涯学習財団個人情報保護管理要綱」に基づき適正な保護を行った。	■ 個人情報の取扱については今後も従業員・スタッフ等への研修
	「フさ適正な床護を11つた。 スタッフミーティングにおいてお互いに連携を密に個人	
	情報の保護に努め、スポーツ等の参加者名簿やトレーニ	
	ング室等のデーターは1年間の保存管理後すべて処分	
	ている。	
⑤利用促進	年齢・体力に合わせたスポーツトレーニングについての	
	健康・体力維持増進事業を実施した。	と効果的なスポーツプログラム提
	利用者からの要望等については、できる限り取り入れる	
	ことができるよう努め、一部ではあるが反映することができた。	取り入れたサービス提供を行い、 利用促進に努めている。
		77777
⑥人員配置	安定的な経営のために総括責任者と副責任者を配置	適正な人員配置を行なってい
	し、庶務・経理・事業担当者等協力しながら館の円滑な	
	営に努めた。特に職員の共通理解を推進していくために	
	館内会議の実施に留意した。	ても効果的及び効率的な運営に
	総括責任者1名、副責任者1名、庶務·経理担当3名、事	努めている。 今後もスポーツ振興という特性
	応行員任有1名、副員任有1名、庶務・経理担当3名、事 業担当3名、ホームページ担当者1名	を有する施設の管理運営である。
	NOTE TO OUT A 15 TO A 15 TO INTERNATIONAL PARTY.	とに留意し人員配置を行うこと。
	市や川崎市生涯学習財団が実施する各種研修への派	
⑦人材育成	DE 614 ALEE #16 5) , , WILL #1	ロマエ かがり マン・ブ
⑦人材育成	遣のほか、利用者とのコミュニケーション能力向上、豊か	
⑦人材育成	な人間性を構築、施設の安全管理のため「施設管理運営	営 知識や技術習得に向けた研修
⑦人材育成	な人間性を構築、施設の安全管理のため「施設管理運管研修」「危機管理研修」「AED研修」等の研修会を開催	営 知識や技術習得に向けた研修 等にも留意し、資質向上と責任意
⑦人材育成	な人間性を構築、施設の安全管理のため「施設管理運営	営 知識や技術習得に向けた研修

	⑧危機管理	重た認防で	要な業 、スタッ を行っ もでき	務ととら アの館! た。館 た。 に と。	え、危 内巡視 内巡視を	機管理は、維持管理なった。	の基本 管理委請 とにより	計画を第 毛業者と 不審者に	の安全確に対する予	緊急時に備えた管理運営や常時の安全点検など危機管理に努めている。 今後も日常の防災管理の徹底を図り、施設の安全管理に努めるとともに、緊急時に備えた体制の整備、スタッフの研修・訓練に努めること。
3 -	3 事業実施状況									
	①施設利用提供 施設利用に支障をきたさないよう館内巡視を重点に器							理に心がけ ベイクを更 設した。 また	今後も利用促進に向け更に努 めること。また、施設利用提供に	
		利	用者数	(H194	年度)				•	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月		
			11,935	12,221	12,780	11,316	9,916	11,979		
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
			13,420	12,816	11,149	10,673	11,769	13,189	143,163	
	②個人開放事業 本施設ではスポーツデーをできるだけ多くの市民に利 (スポーツデー) 用していただくように考慮し実施した。								市民に利	多くのニーズに対応できるよう努め、諸施設の有効活用や空き時間等の有効利用に留意し、機会提供サービスの向上に努めること。また、社会的課題や地域的課
			曜	目	P	勺 容	参	加者数		題等に留意すること。
			毎週	週火曜	エアロビクス エアロビクス 柔道 健康体操 バドミントン 空手 剣道 卓球			- 36,559名		
			毎週	固水曜			36			
			毎週	固木曜						
				国金曜	エアロビクス ヨガ					
			第 2・4 土曜 マット運動 毎週日曜 卓球							
1				10 日唯	卓球			00 007 7		

28,637 名

毎日

トレーニング室

	③スポーツ教室 事業や地域にお ける生涯スポー ツ振興の推進に 必要な各種事業	スポーツ教室は とし、年間を3期は 実施した。 スポーツ教室	こ分け1期ご	多くのニーズに対応できるよう努め、諸施設の有効活用や空き時間等の有効利用に留意し、機会提供サービスの向上に努めること。 また、教室終了後の活動支援等		
		期日 $5/16\sim7/18$ $10/3\sim12/12$ $10/3\sim12/12$ $1/10\sim3/13$ $1/9\sim3/12$ $5/9\sim7/11$	対象 15歳以上 15歳以上 15歳以上 15歳以上 15歳以上 3・4歳児	以上 真向法体操 以上 気功太極拳 42名 以上 卓球 40名 以上 バウンドテニス 14名 以上 ストレッチ体操 15名		についても検討すること。
		スポーツ振興事業 事業名 健康体力相談 フリーウエイト 講習会 体育の日 記念事業	期日 第1·第3土曜 第1·第3土曜 10月8日	参加者数 54名 105名 245名		
	④スポーツ情報 の提供及び相談 業務	館内の掲示板 ^の 情報収集ができる リアルタイムに作 ターネットホーム・	るよう努めた 青報提供を行	相談業務等による利用者の満足度向上は、施設の信頼性や親近感の向上にも密接であるため、相談ができる施設となるよう努めること。		
	⑤指導者・ボラン ティアの育成	ニュースポーツ の中で指導者育 また、指導者ボ 習を受入、次代を	成を実施し7 ランティアで	主体的な指導者育成やボラン ティア養成などについて、実施に 向けて検討・調整を行うこと。		
	⑥自主事業に関 する事項	清涼飲料水の日利用者の利便性の販売を行った。	生に配慮して	利用者の利便性の向上につな がる自主事業の積極的な実施が なされている。		
4 L	又支状況	<u> </u>				
	①年間収支	平成19年度 決 収入 指定管: 利用料。 事業収 収入 支出 管理運 事業費 支出 収支差額	理委託費 金収入 入他 計 営費	支出超過することなく管理運営を行っているが、総事業費に対する収支差額の割合が大きい。調整中の計画事業等を早期に実施するとともに、利用者サービスの維持・向上に留意した上で効果的効率的な事業展開・管理運営を図るよう努めること。		

3 管理運営に対する全体的な評価

公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果すよう努めている。

地域のスポーツ振興を担う施設として、スポーツ活動の場を提供するとともに、プログラムを含めた参加機会の提供、地域スポーツ活動の支援や意識啓発等に積極的に事業展開を図っている。

リアルタイムに情報を提供するホームページを新規に開設し利便性の向上に努めている。

利用者の要望によりトレーニングマシーンを増設するなど、利用環境の向上に努めており評価する。

4 来年度の管理運営に対する指導事項等

幼児から高齢者まで市民誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、生涯スポーツを通じてのまちづくりを目指すとともに、市民の健康・体力の維持・増進やスポーツ活動の推進に努め、生涯スポーツの振興を図るよう努めること。

また、公平で平等な利用を確保しつつ、経済効果にも留意し、公共性と効率性との両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営による経費節減に努めること。

広報誌等の発刊や既存の情報誌等への情報提供に考慮し広報の拡充を図るとともに、人材育成について知識や技術習得に向けた研修等にも留意した研修等の実施、利用促進・サービス向上に向けた取組の検討・実施、主催事業におけるニーズの把握と対応、教室終了後の活動支援等の検討、情報提供や相談業務の充実、主体的な指導者育成やボランティア養成等の実施に向けた検討・調整など、上記の「評価及び指導」欄に記した指導事項に留意し管理運営を行うとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援、地域との連携によるスポーツ振興事業のほか、地域の活性化、高齢化対応、子育て支援、障害者スポーツ振興、健康都市づくりなどの行政課題の解決にも留意し、事業展開を図ること。